



令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校
「指定校における取組事例」

学校名	広島県立大竹高等学校	校長	流田 靖	担当者名	岡本 茂生
取組事例名		『体育的行事』			
生徒指導に係る連携体制の確立		カウンセリング・マインドをもった教職員と児童生徒との対話		○	主体的な活動を通じた絆づくり
取組における育てたい資質・能力					
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年によるコミュニケーション能力の育成 ○ 主体的な活動としての積極的実践力 ○ 共感的理解と人間関係の形成 					
取組のねらい					
<ul style="list-style-type: none"> ○ クラスの一員としての所属意識を高め，自己存在感に気づく。 ○ 集団の中で自分の責任を果たし，積極的に活動する。 ○ 他者とのかかわりを意識して，公正・安全に競技する。 					
取組の具体的内容			取組の創意工夫		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育祭 <ul style="list-style-type: none"> ・縦割りのチーム構成による団体競技 ・「つなぐ」を意識したバトンパス競技 ・ザ・ガマン ・縄跳びギネスに挑戦 					
<ul style="list-style-type: none"> ○ 球技大会 <ul style="list-style-type: none"> ・年間3回の競技計画でソフトボール・バレー・サッカー・バスケット以外にソフトバレー・ドッジボール・3×3バスケット・フットサルの新競技を実施 					
			<ul style="list-style-type: none"> ※行事縮小分は回数を増やしカバー ※体育委員による大会運営 ※クラス生徒が必ず出場するルール ※マスコットキャラクターを募集，視覚的効果による意欲向上を図る 		
取組の成果と課題					
<ul style="list-style-type: none"> ○ 競技運営に対して生徒同士で支え合い，協力的に実施することができた。 ○ ケガの未然防止に向けた，競技の種類・運営方法を改善することが課題である。 ○ 生徒の満足度が95%以上であった。 ○ 生徒の自主性を引き出す仕掛けづくりが必要である。 					